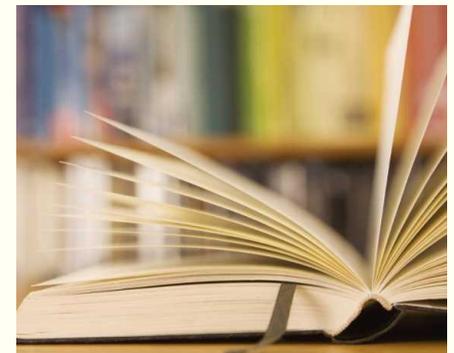




# 「命の教育」プロジェクトの発足と今後の展開

－ 命の教育2017シンポジウム趣旨説明にかえて－

北海道教育大学教職大学院・院長 井門正美



## 「命の教育」プロジェクトの始まり

### 「命の教育2017シンポジウム」

主催 北海道教育大学教職大学院「命の教育」プロジェクトチーム

共催 自殺総合対策推進センター

(Japan Support Center for Suicide Countermeasures<JSSC>)

### 「命の教育」プロジェクトチームの設立

自殺総合対策推進センター(JSSC)との連携に端を発している。

### 自殺総合対策推進センターとは

昨年(2016年)4月1日の改正自殺対策基本法の施行と共に発足した。

この法律の新しい理念と趣旨に基づき、学際的に関係者が連携して自殺対策のPDCAサイクルに取り組むためのエビデンスの提供を行うと共に、民間団体を含め地域の自殺対策を支援する機能を強化することが、当センターに課せられた使命である。



### JSSCの初代センター長・本橋豊先生

京都府立医科大学の特任教授も兼任

前任校の秋田大学では、医学部教授として公衆衛生学講座を十数年の長きにわたり運営され、特に、**自殺率が全国トップであった秋田の自殺対策に取り組み顕著な成果を収める。**

井門も前任校は秋田大学で16年間勤務(2015年3月まで)

私は秋田大での最後の2年間、教員免許状更新講習推進センター長の任にあったが、その時、**私の教育部門を管轄する理事・副学長が本橋先生だった。**2014(平成26)年3月に本橋先生が秋田大を去るにあたり、とあることで意気投合した私たちは、**医学と教育学の関連領域での共同研究を約束した。**

本橋先生が**厚生労働科学研究費補助金「学際的・国際的アプローチによる自殺総合対策の新たな政策展開に関する研究」**(平成26-28年度)を展開し、特に、**JSSCのセンター長に就任したことから、学際的な取組みを推進される中で、私ども北海道教育大学教職大学院も研究チームを組織して本研究に参加した。**

**「『命の教育』プロジェクト」と命名**

## 「命の教育」プロジェクトの目的

### 教育の問題状況

いま、学校関係者の様々な努力にもかかわらず、子どもたちの自尊感情の低さ、他者への思いやりや倫理観の欠如が問題視されている。いじめ、虐待やDV、自殺など、命に関わる問題が社会基盤を揺るがす大きな問題ともなっている。

### 教育の根幹

幼児、児童生徒、学生、大学院生、そして保護者に対して、命の大切さ、生きることの意味・意義を伝えることを改めて教育の根幹と捉えなければならない。

### 本プロジェクトの目的

教育実践では、自殺は最も重いテーマで喫緊の課題だが、その自殺を生じさせる社会環境や教育環境、学校組織や教師そのものの在り方を問い直し、問題を改善することこそ、教育実践研究の根幹であると捉え、命を大切にし、生きることへの志向性を促進することをプロジェクトの目的とした。

## 「命の教育」プロジェクトの研究実践の柱

- ①人間形成と成長の基盤となる教育として、「心を育てる読書教育」
- ②日々の悩みや人間関係の軋轢等から自身を解放する「ストレスマネジメント教育」
- ③苦難やストレスに耐え立ち向かう「レジリエンス教育」
- ④保健衛生に留意し体づくりや健康を促進する「健康教育」
- ⑤自殺者を一人でも減少させる人間関係や社会基盤づくりを推進する自殺総合対策「命の教育」  
(特に、**SOS**の出し方・気づき方教育、自殺対策学習)
- ⑥教職大学院講義と教員免許状更新講習への「命の教育」の組み込み



昨年(2016)10月から組織的に研究開始



現在、上記主要テーマに関する研究を進めている。

# 「命の教育」プロジェクトのホームページ

命の教育ホームページを開設 成果公開

(<https://eis-web.sap.hokkyodai.ac.jp/edu4life/,DanaInfo=www.ido-labo.com+>)

現在構築中!! 今後は随時更新

## 命の教育プロジェクト

— 私たちの命を守り健やかな成長を促すために —

いま、学校における懸命な努力にも関わらず、自ら命を絶つ児童生徒の問題が後を絶ちません。要因として、自尊感情の低さ、人間関係の希薄さ、他者への思いやりの欠如、いじめ、不登校、虐待・DVなど、命に関わる様々な問題が指摘されています。社会基盤を揺るがすこうした事態に鑑み、『命の教育プロジェクト』は、総合的な対策を具体的に考えていきます。

### プロジェクト概要

プロジェクトについて

組織図

### 心を育てる読書のススメ

読書で健やかな成長を促進する

図書紹介

公開は、3月末の予定です。  
デザイン・レイアウトも調整中

# 「命の教育2017シンポジウム」は、 「命の教育」プロジェクトの最初の事業

○本シンポジウムの登壇者

講演 本橋豊先生

シンポジウム 阪中順子先生  
今川洋子先生  
上島 博先生  
吉川和代先生  
反町吉秀先生

総括

皆様に感謝申し上げます。

○後援 北海道教育委員会／札幌市教育委員会

御礼申し上げます。

「厚生労働科学研究費補助金」  
「学際的・国際的アプローチによる自殺総合対策の新たな政策展開に関する研究」最終事業

命の教育2017シンポジウム  
テーマ 自殺総合対策における「命の教育」  
— 生きる支援に向けたSOSの出し方教育 —

日時 2017(平成29年) 3月19日 (日)  
13時30分～16時30分 (開場13時)

会場 ホテルパールスター札幌  
2階メヌエット  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 TEL.011-241-9111

参加費 無料 事前にお申込みください

氏名、所属、連絡先を記入の上、下記に送信ください。  
[e-mail] inochi.kyouiku@gmail.com  
IF A XI011-778-0614  
(事務局：井門正美研究室)

ま、学校における懸命な努力にも関わらず、自ら命を絶つ児童生徒の問題が後を絶ちません。要因として、自尊感情の低さ、人間関係の希薄さ、他者への思いやりの欠如、いじめ、不登校、虐待・DVなど、命に関わる様々な問題が指摘されています。社会基盤を揺るがすこうした事態に鑑み、今回、特に自殺問題に対処する総合的な対策を具体的に考える「命の教育2017シンポジウム」を開催致します。

プログラム

（総合司会）梅 村 武 仁（北海道教育大学教職大学院特任教授）

1 趣 旨 説 明 13時30分～13時40分 井 門 正 美（北海道教育大学教職大学院教授・教職大学院院長）

2 基 調 講 演 13時40分～14時40分  
「生きる支援に向けた児童生徒のSOSの出し方教育～国の政策の今後の方向性」  
本 橋 豊（自殺総合対策推進センター・センター長）

3 シンポジウム 14時50分～16時10分  
《企画・司会者》安 川 祐 亮（北海道教育大学教職大学院教授）  
《報告討論者・記録提供者》阪 中 順 子（四天王寺中学校SC、文部科学省児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議委員）  
《記録提供者》今 川 洋 子（北海道深川保健所健康推進課長）  
上 島 博（元奈良県西吉野市立五合堂小学校教諭）  
吉 川 和 代（奈良県五條市立宇智小学校教諭）

4 結 語 16時10分～16時30分 反 町 吉 秀（自殺総合対策推進センター・健康支援推進室・室長）

主催 北海道教育大学教職大学院・「命の教育」プロジェクトチーム 共催 自殺総合対策推進センター 協賛 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

本日の参加者の皆様の忌憚のないご意見・ご感想を  
うかがえたらと存じます。  
どうぞよろしくお願いいたします。



ご静聴、有り難うございました。

井門

続いて、基調講演は、本橋豊先生です。

